

2020年12月25日

第72回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)が主催する第72回「保健文化賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

当社は創業以来、生命保険事業を通じた社会課題解決への貢献とともに、国民の健康、保健衛生の向上に努めてきました。1934年に「保生会」を設立して当時の国民病であった結核予防に取り組み、戦後間もない1950年に衛生環境が悪化する中、わが国の保健衛生向上のためにお役に立ちたいと、保健衛生の分野における立派な業績と長年にわたるご労苦に感謝と敬意を捧げるために本賞を創設しました。

創設当時は結核や栄養不足など社会的に喫緊の課題である分野でのご活躍を対象としていましたが、近年では生活習慣病対策、高齢者や障がい者への福祉、海外医療や疾病対策など、その時代におけるさまざまな課題に、継続的に取り組んでこられた方々を顕彰させていただいています。

第72回となる本年度は、2020年2月3日から4月17日の期間に募集を行い、団体・個人合わせて42件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、団体10件、個人5名の受賞者が決定しました。これまでの受賞者総数(今回を含む)は、703団体、個人362名、合わせて1,065件にのぼります。

受賞者には、厚生労働大臣から表彰状、当社からは感謝状とともに賞金(団体200万円、個人100万円)が贈られます。贈呈式は2021年秋に開催予定です。

以上

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK厚生文化事業団

第72回保健文化賞受賞者一覧

(別紙)

受賞者名	都道府県	業績
社会福祉法人 グリーンローズ	秋田県	乳幼児期のことばの発達に支援を要する子どもとその家族への相談・支援事業、並びに障害のある子ども達も共に保育・教育を受けられる環境づくりに貢献している。
公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO	東京都	多数の医療者や企業から協力を得て重症児や希少難病児の支援に特化している唯一性の高い団体であり、経済的基盤も不安定な若い家族を支援し、彼らのQOLを高めて社会的孤立を阻止することに貢献している。
特定非営利活動法人 モンキーマジック	東京都	クライミングというスポーツを障害者が楽しめる環境を創るのみにとどまらず、健常者も一緒に参加し楽しめる環境を広げることに貢献している。
静岡県在宅保健師の会「つつじ会」	静岡県	長年に亘り、豊富な経験と知見を活かして、住民と対話し、地域を観察する家庭訪問は、市町と住民を繋ぐ架け橋となっており、静岡県健康寿命の延伸に貢献している。
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大阪府	無料低額診療事業の目的に沿って、独自に「生活困窮者支援事業」(なでしこプラン)を創設し、同会の複数病院が協力して、生活困窮者が多く居住する地域への「出かける検診事業」を実施し、疾病予防と健康の増進に貢献した。
特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター	大阪府	若年性認知症の方への支援団体は、全国的にもほとんどない中、先駆的に取組みを行い、特に、診断前や診断後初期に利用できる社会資源が少ない中、週4回活動できる取組みを行い、若年性認知症の居場所作りに貢献している。
特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク	兵庫県	役員をはじめ運営委員会等の委員は無償協力であり、臍帯血を病院から搬送するスタッフなど、多くのボランティアや県民、ライオンズクラブ等からの協力を得て運営されており、全国の着実な臍帯血の提供に貢献している。
健康で安心して住める 花栗振興会	島根県	行政に頼らず住民が自主的に健康で安心して暮らせる地域づくりを計画・実践しており、高齢化率は高水準だが、地域の活動への参加率も高く、他地区の模範と成り得る団体であり、地域版の健康づくり活動計画の策定に貢献している。
特定非営利活動法人 みよしサポート協会びあぞら	徳島県	社会的課題であるひきこもり対策において、対象者別の仕組みでは対応できないような複合的なニーズに、ピアサポートの力を活用し柔軟に対応し、関係機関と連携のもと、切れ目のない支援に貢献している。
高知県骨髄バンク推進協議会	高知県	日本骨髄バンクが設立された翌年の1992年から活動を開始し、ドナーを募る登録会を長年にわたって実施しており、高知県民に向けた骨髄バンクの普及啓発に貢献している。
増田 靖子	北海道	現実のニーズをしっかりと把握した上で、草の根レベルの地道な活動を継続し、同病の患者・家族の間じたサークルではなく、難病患者が広く連携・連帯し、お互いの問題を解決して行く枠組み作りに貢献している。
田中 志子	群馬県	病棟では、身体拘束ゼロ医療・ケア、地域では、認知症の人の見守りネットワークや買い物支援など、認知症の人の尊厳を守り、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりに貢献している。
大淵 修一	埼玉県	介護予防の必要性を早期から訴え、介護予防に関する研究・介護予防システムの構築に尽力し、介護分野で理学療法士が活躍する契機を作り、また予防を中心とした地域づくりに貢献した。
秋山 正子	東京都	訪問看護・在宅ケア、暮らしの保健室、マギーズ東京など、27年間に渡り無私な精神で患者・家族を支え続け、地域密着の経験知を講演・執筆等で広く伝え、全国の実践向上に貢献している。
池川 志郎	東京都	骨・関節系統の難病、遺伝病、生活習慣病に関する専門医かつ基礎研究者として、疾患の原因解明、適切な医療の普及、患者支援体制の整備、人材育成、関係コミュニティの連携支援を通じて、広く患者の福祉に貢献した。